夕刊 磐城新聞
十一月六日發行
東京振替一〇・五六五八番（日曜祭日翌日休刊）

善友と惡友

山門叡之助

友は持つべきものだ、といふ一面に、友を持つことは一種の苦痛と憎惡を覺えることが屢々ある。これは強ち私のみではなからうが、同じ友でも善友と惡友があるからだ。

善友は人々生活段階に於ける良き協力者として、時には肉親以上、犠牲も勞も惜しまぬが、惡友は、尤も始めから惡友ではなかつたらうが、遠慮ない友交關係を逆用し、煮湯を飲ませる。否、飲ませられなくしても、下手に同情した結果が取返しもつかぬことになる場合がある。結果から云へば惡友に他ならなかつた譯だ。

旅は道伴れ世は情といふ一面に人を見たら泥棒と思へといふ俚諺のそれと同じやうに、同じ友でもその友の選擇の如何に重大なるかを痛感させられる。

私は友を愛する。容易に離れられない愛着は利害關係を超へたそれは盲目に似たものがある。それは兎に角、友によつて幾度か救けられた私であるが、反面、被つたことも亦侮れない。

友のために不利な、損害をするものもあれば、友のために一身を蔽なしとするものもある。固より自己の不實の致すところ大であるが、私は現もそれがために暗迷の日を送つてゐる。一家は全く暗黒である。惡運とのみ自己の不實とのみ諦めきれない一種の痛憤は蔽ふべくもない。

◇

これは私の今日に至る體驗からであるが、一番親しく處して來はる友は、一番親しんで然るべき宗教家の友でなくて、その以外の分野に働く友だつたと言へる。宗教家である友は、親しみの中に一種の刺がある。傳統的特性であると同時に、臭味であるとでも稱すべきか、知らず識らずの中に大なり小なり利用されてゐるのであつた。友だちの利用されるのは望むところで、當然であるが、對手か不純な欲にからんで、陰舌を出し、友達甲斐を意識しようとしないから嫌になる。ある坊さんの友などは巧言令色仁すくなしの類で、終始利用することに浮身をやつしてゐる。

併し、同じ宗教關係の友でも、信仰に生き俗事に携はる友は、實にそれと反對で全く心置きなく交き合へる。寧ろ自ら頭の下がることが屢々ある。

坊さんとて同じく信仰に生きてゐる限り俗間の信仰家と相異はない筈なのに、何故であらうか。或は私のみかもしれないけれども。

秋たくる頃（上）

高橋忠次郎

○口荒れに煙草のまづさ朝霧の畑地歩き身のほてりたる

○里芋の葉のひろがり露玉のあまた靜もり霧低く這ふ

○盛りあがる生の息吹を思ひみよ常盤木は秋を芽立ちたりけり

○割増金五百圓と大きく書かれある戰時公債のビラを街に貰ひつ

○闇空の光芒の中にさらされて機影まばゆし二つながらに

○妹二人嫁ぎて逝る秋にして獨り身の姉は肥りきにけり（四人の姉妹を）

賀赤堀信平君任文部省美術展覽會審査員

珠雲　小野務平

雕鐫多歳専精
博雅斯壇馳令名
靈技超群萬人仰
學然今日會殊榮

つぶやき

11月7日
——
△青島占領（大正三）△桃中軒雲右衛門歿す（大正五）△新議事堂の落成式（昭和一一）△有田外相聲明、戰域全支擴大に伴ふ善處方を在支各國大公使へ要請（同一三）

○

冬支度へゞくり物に母忙し　魚石

講談 振袖横町（71）

須藤鐘一
萩原萬象畫

襲擊（十一）

『ねえ婆やさん……。そんな騒痴話なんかしてゐたつて、お役人に聞かれりや、お咎めを受けるものぐゝるにそれよりは此方に何か面白い話はないかねえ……。』

『勉さん、私のやうな年寄りは餘り外に出ないから面白い話なんか聞かれやしないよ。それとねえ勉さん、運の好い人は、何處まで運が好いか分らないもんでねえ……。うちの殿様のお勤めになつてゐる、柳澤美濃守さまね。』

『うん。』

『その柳澤の殿様のところへ、公方様がお微行でお成りになるのですとさ。』

『婆やさん、そりや本當なのかい？いくらお氣に入の御家來のところへだつて、公方様が御微行で行く筈はねえだらうと、俺は思ふんだが、婆やさんも案外人が悪いなア……』

『勉さんを擔いだつて、仕様がないぢやないの……。他の人にこんな話をしたらそれこそ大變さ、けれど勉さんだから話すんだよ。噓ぢやないんだ！殿様が奥様と話をしてゐるんだから間違ひはないよ。それに昨日御田小川町の上州屋の主人が御當家へ御用を聞きに來た時、お屋敷御出入りの加賀屋から酒を取り寄せるのだが、今度は、灘の生一本の上等の物を持つて來いと言つてゐましたから間違ひのない話さ』

『へエ、柳澤の殿様も偉いものだなあ……。公方様がお屋敷へお成りになるなん……。ねえ、婆やさん、酒を上州屋から取つたんなら、そのお成りの當日のお料理いお肴は、勉助のとこつから取つて呉りやいゝのに——。ハッハッハッ！』

『けれどもそりや餘り虫のいゝ話ぢや不可ない！。そんなことが他の者に知れると、私がとんだ迷惑をしますからね。』

『あいよ、大丈夫だ。可愛がられてゐる婆やさんに、迷惑の掛るやうなことはしませんよ。』

と言つて外へ出る。

婆やに、何か見繕つて置いておつて呉れるだらうと思つて、そとに出て見ると勉助は天貧棒を擔いで歸らうとするので、

『勉さん！何か見繕つて置いて行つておくれよ』

聲を掛けられて勉助、

『違ねねね。婆やさんに御馳走になつて、婆やさんの惣菜を置いてくのを忘れちまつた、勘辨して下さい。願ひたわね……。〜三兩か、三兩二分しかあきないの出來ない、俺ンところから、そんな立派なお料理の材料は納められやしねえや！婆やさん、俺も一生懸命に稼いで、今にそんな御料理の材料を納めることの出來るやうな立派な魚屋になつて見せますせ……』

『勉さんは、若いけれど立派な心掛けだねえ……。早く出世しておくんなさいよ。この婆やも蔭ながら勉さんの出世をお祈りしてゐますよ。』

『婆やさん頼みますよ、俺なんざあみんなに可愛がられなければ出世は出來ないんだから。』

『それから、こんなことを噓前いなんて、誰にも言つたかいよ』

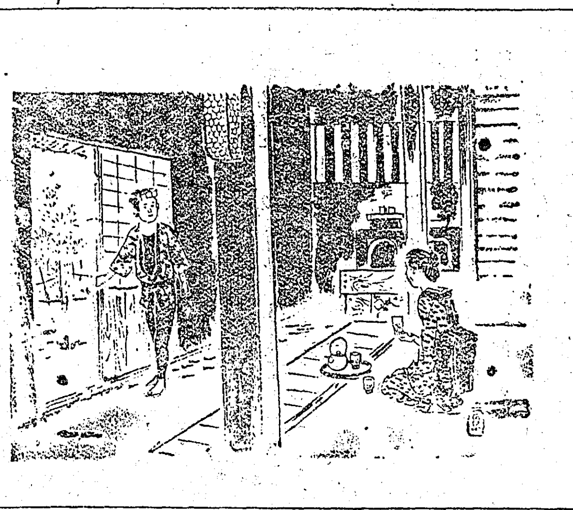
と、また引返して來て

『この鰻は本場物だせ！と鮑でも置いて行からか』

『あまり高いものだと叱られますからね……』

『大丈夫だよ。そんなに高くはつけて置かねわから』

と、いつて手早く料理をしてまた盤台を擔いで、急いで歸つて行つた。



天氣豫報

小名濱測候所發表

今晩　北の風晴たり
明日　同

外科、内臓外科
エツキス光線科
院長 安齊徹
平市田町
入院隨意
安齊醫院
電話四七五番

酒トマヅイ
おでんの
榮ちゃん
平市田町花ノ里
電話三三番

加奈陀系銀狐、純血エゾ狸
東北系多産種狸、フイッチ日本テン
大型種兎アンゴラ兎、雉子家禽各種
平産業養狸組合事務所
乾産業會社畜産部
國策アンゴラ兎採毛協會
福島縣磐城種畜場
内郷村堀（平市外）
出張所 平驛前 電六四八番
分讓所 東京市淀橋區下落合

藥品 飼料各種
◇北里研究所製 ジステンパー豫防液
◇東亞製藥所製 綜合ビタミン劑
◇ヴイベリン末（動物わかもとの稱あり）
◇フイッシミール 榮養魚粉
病理研究、診療 榮養劑の配劑 飼育指導の需に應
擔任 獸醫師 技師

强
自轉車とリヤカー
フタバ商會
新川町郵便局向

神經痛・ロイマチス
塗布藥 漢方 百草根
陸海軍病院御用藥
藥價 五錢 一五錢 五〇錢
平代理店 丸亀商店
平市大町 電話一三三番

これは便利！
△手を荒さず
△絹、毛織物、木綿、スフの生地を傷めず
△つけておくだけで洗へる
㊮ マルミ粉末石鹸
製造元 平市材木町一二

淋病、婦人病
根治療法
自の魂
自の魂代理店
（平市研町公園下）

高周波 HS線
樂生堂電療院
從來の療法で根治せぬ方は、先ずHS線の責任管治療には如何なるもか御相談下さい

ミシン
平驛前大通り（シンガー）
石川ミシン店
世界代表 シンガーミシン
日本代表 アサヒミシン
ニツポンミシン
コントロール
◎月賦販賣 ◎無料教授

開業
内臓外科
整形外科
平市大町二番地
內木外科醫院
醫學博士 內木宗八
（入院隨時）

御婚禮御支度
衣裳、かつらの便もあります
和洋結髪
パーマネント。ウエーブ
美容一切御用命の程を願ひます
平市新田町
手塚美容院

淸涼の——小瀧は招く
一日の清遊には……どうぞ小瀧へ！
お迎へお送りに輕快な馬車の用意があります
鐵道指定旅館
割烹 小瀧
電話小名濱一〇三

生花教授
池ノ坊
生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい
平市四丁目和泉屋二階
須藤なか

銘木（床ノ間材）
天井板、ベニヤ板を買ふなら
確かに御期待に添ふ良品廉價の
「万鐵」材木商店へ
福島縣平市 電話平四六〇番
一變せる勉强振りを、ぜひ一度お試しを乞ふ
營業種目
建築木材一式
銘木ベニヤ板
秋田杉四分板
建具材・便利瓦
◎小店員募集
年齢十五歳ヨリ廿歳迄

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
内務省指定
福島縣立代用精神病院
郡山驛より約三十丁 安積中學より約五丁
郡山腦病院
郡山市外大槻村針生
電話九二五番
入院隨時
院長醫學士 金森五郎

新古時計高價買入
時計メガネ、
平市三丁目
ネモトへ

稻荷丸
皇漢オルモン藥
キキメ
◇腹痛……には三粒デキキマス
◇胃痙攣……ムナサキ痛みには奇妙ニキ、マス
◇小兒の諸病……一日三回のませて見れば靈妙な作用で健康体となる
◇心臓病……少しの運動にもドウキ切れドウキの高い方御試驗下さい
◇自動車醉……ニハ乘車前十分位ニ三粒服用セバヨイマセン
◇肺炎……一粒腹中に入れば心臓を强め精力活力を增加す
定價
四十五粒—五十錢
百二十粒—壹圓
二百七拾粒—貳圓五十錢
五百五拾粒—五圓
茨城縣笠間町（稻荷神社前）
本舗 イナリ丸 金子製藥所
—代理店—
平市古鍛冶町一〇（縣社下）
（有名藥局にあり）
阿康藥局
電話四十四番
振替東京三〇〇六五番

月曜論壇

學都平市を祝福

市の南端、關連の近代都市に一新風景を描形した平商業學校の偉觀は既存の男女兩縣立校及び目下計畫中の工業學校と相呼應し、學都平の形態を整ふる前驅として定に輕視出來ない事である。由來平の地たる地方の大宗産業を集散する所謂港都として極めて輝かしい明日を約束されてゐるが之から派生する青英機關の發達なども、蓋し先進都市既往の伸展過程に徴し何人も容易に肯定し得る處であり、この見地から今日の平商校落成こそは市の將來に於つて頗る意義深い一基の前進標を打ち込んだものとし赫奕たる前途を祝福する者でない。願ふに大正の初期夙くも創設された平商業補習學校以來このビジネスエジュケーションに培れ、幾多の人材が如何に各方面に華々しく躍進して居るか、而も年と共に校歴を重ねるに及んで學校に對する世上の正認識が彌々深まるに伴れて榮譽ある存在理由が逐年高まりつつあるは、殆ど百%の就職率を證しても想ひ半に過ぐるものがあつて同校の今後に繋けられる期待は全く絶大なものがあると云はねばならない。時に際し市民の輿論だ更に工業學校の創立を叫ぶに至り、而も問題は既に理想より着々實行の域に入り今後不測の支障が生ぜざる限り、目睫の來容にある實現を我想されつつある石城炭田の中央にある躍進都市の教育部門の完成と、颯爽たるその誕生を慶讃せねばならない。之を以て何人か異を得て臍を曲げるものぞ、眞個商業に配する工の教育機關即ち商工關係の施設は即今の平市としては一日の遷延を許さぬ問題であり、支出多端の今日に處して當局が前然之に乘り出した炯眼達識、衷心の敬意を表すると共に、地方の各炭礦乃至有志が滿幅の同情支援を之に傾けつつあるは時節柄感激に禁へない。大方の理解に因て一日も速く實現一度いと思ふ

軍需工業及び時局の波を受けた苦悩を述懐してゐる各方面の陳情團一行歸る

壯丁に豫備檢査 實施
「出でよ時局下の干城」

碧空の下意氣高し

日立王國へ交渉
平工業學校問題進展

滿蹕殿堂を祝福
昨日市南郊に明朗色

資産家の妻死の家出
愛兒三人を連れ地方へ

軍部に四名合格

米穀取締強化
平署の眼光る

菊花展
入賞決る

人を傷ける方面の惱み

盛んに進行中
農繁に拍車された手不足に

學都平市を祝福

野つた昔も美し

校開天体操場内で開かれるが入賞左の如し
△優等1柴野房太郎2阿部コト3木幡清光△高須磐渡邊喜重△岡崎田軍次郎△横濱飾渡邊喜重△卷繪葉代阿部コト△菊理姫
德竹正右工門△岡阿部コト△盛容1柴野房太郎2木幡博光3德竹正右工門4根本幸次郎△一般の部1柴野房太郎2根本幸次郎
△十五日　時局經濟講演
△二十日　入營兵送別會（公會堂）
△二十二日　隣組員候補

近藤家の美擧
市內南町木村支店主人近藤ムメさん（六五）は一昨四日死去、六日葬儀に際し嗣子繁治氏は左の如く各方面に寄附したが、ムメさんは現在百五十圓の納稅組合のうちただ一

イナゴで資金造成
けふ市第四小學校兒童出動

入質品届意の事

日立王國へ交渉
平工業學校問題進展

滿蹕殿堂を祝福
昨日市南郊に明朗色

資産家の妻死の家出
愛兒三人を連れ地方へ

今六日これが記念式を擧行子供を連れ保原中學の運動會見物に行つたまゝ行方不を願ひ出た

伊達郡保原町多額納稅者金明となつた、同女は三年前から神經衰弱氣味であつたが子飛六氏孝清子さん（三）は去る五日朝九時半頃次男徹平君（二）長女もと子さん（六）三男元久君（三）の三人の子供を殘して「原釜海岸で投身自殺する」旨の遺書を殘してゐるので或は平地方に立寄るのではないかと平署に捜索方

木村氏小名濱局長就任
平郵便局長木村久氏は功成り名遂げて此程退官、小名濱郵便局長に就任した

平市の行事　市の今月中豫定行事左の如し
△八日　午後二時公益質屋

職工及見習工募集

平市月見町
合資會社　佐藤鐵工所
電話三六二番

平市田町（電話五三一番）
高久病院
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥劑士　佐竹榮
內科　小兒科
外科　花柳病科
耳鼻咽喉科
（看護婦至急募集）

產婦人科一專門
平市南町
根本醫院
（入院隨時）　電話三四番

平病院（平市元長淨病院跡）
院主　醫學博士　鈴木定藏
內科　院長
小兒科　副院長　土井利明
內臟外科　鈴木定藏
皮膚泌尿器科　副院長　高橋俊幸
レントゲン科　院長　鈴木定藏
物理的療法科　吉本孝平
藥劑科　部長
……毎日午前八時ヨリ午後九時迄、夜間診療ニ從事ス（急患ハ此ノ限リニアラズ）
診療時間

おでん
お酒のあとにおけさめし
平市三田小路（三丁目裏）
おでん茶めし酒の家　味郷

故障の起らぬ
日ロのラヂオ
店理代社會式株機電線無口原
古山電氣商會
平市二丁目（警察署通り）
電話（呼出）166

照明院御會葬御禮
十一月六日
平市鐵田町
猪狩兼孝

只今入荷
金鵄印
天然バター
金鵄ミルクは北海道札幌工場製の天然バターです。
天然バター品薄の折柄是非御用命下さい
½ポンド　¼ポンド詰
西村屋藥局
電話3番